

建築インテリア製図

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 1年
使用教科書	インテリア製図（実教出版）				
副教材等	トレースの技法と受験対策（実務技能検定協会）、配布プリント				

「製図」はどんな科目？

ものづくりにおいて、大切なものの一つが図面です。この授業では、図面の基本的なかき方を学習し、基礎的な知識と図面を正しく読み取れる能力と態度を育てます。

「製図」の学習の特徴は？

製図に関する決まりやかき方を、実際の図面をかきながら体験的に学習します。

「製図」で大切なこと（留意点）は？

製図は、正確で美しい図面を書くことも大切ですが、一番大切なことは定められた時間内に書き上げること、すなわち「提出期限」を守ることが大切です。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> 基礎製図 製図の用具と材料 	<ul style="list-style-type: none"> 製図の概要について学習する。 道具の使い方を学習し、名称を覚える。 製図に関するJISを学習する。 土台マワリ詳細図をかき、製図の線に慣れます。 トレースの技法を学習する。
	5	<ul style="list-style-type: none"> 製図の規約 建築製図の基礎（線の練習） 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> トレース技能 	
	7	<期末考査>	
2 学 期	8	<ul style="list-style-type: none"> トレース技能 	<ul style="list-style-type: none"> * トレース技能検定（3級受験） * 製図コンクールに出展 簡単な家具や建築の図面を作図する（6課題） 家具の図面が理解できる。
	9	<ul style="list-style-type: none"> 家具製図 （課題1）センターテーブル 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> （課題2）飾り棚 （課題3）安楽椅子 	
	11	<ul style="list-style-type: none"> 建築製図 （課題1）平屋建て専用住宅 	
	12	（配置図・平面図）	<ul style="list-style-type: none"> 建築図面が理解できる。
3 学 期	1	（課題2）平屋建て専用住宅	<ul style="list-style-type: none"> 建築図面が理解できる。
	2	（立面図・断面図）	
	3	（課題3）平屋建て専用住宅	
		（断面詳細図）	<学年末考査>

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の製図に取り組む姿勢 ・作品の提出日を守る ・出席状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備 ・授業態度 ・課題提出
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・図面正確さ、綺麗さ ・効率の良い作業手順を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の表現 ・線の表現
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・図面の正確さ、綺麗さ ・課題の取組状況 ・資格取得状況等（トレース技能検定3級・製図コンクール） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の完成度 ・正確さ
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・製図の規約などに関する知識や理解 ・課題テスト等 	<ul style="list-style-type: none"> ・線の使い分け ・定期考査

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・作品の出来栄え（作品点）
- ・授業態度、出席状況
- ・建築製図、家具製図の理解度
- ・第三角法（三面図）、理論（J I S）の理解度
- ・提出状況

また、1年間の評定は年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して評価します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

- ・家具・建築の製図を読めるようにしよう。
- ・普段の授業を真剣に取り組み、作品の提出日を守ろう。
- ・創造力を育てよう。
- ・自己を育てよう。「集中力」、「期限を守る」、「本人なりの力を発揮」